

# 南町一丁目だより

発行日	平成20年12月15日
発行者	南町一丁目自治会
編集者	広報編集委員会
電話	221-2728（谷中）

第10号

## <南町一丁目祭り（前橋まつり協賛）特集号>



### 自治会長挨拶

過日、10月11日、12日の両日に亘り、南町一丁目祭りに際し、町内皆様のご協力により盛大に実施することが出来ました。厚くお礼申し上げます。

今年は前橋祭り参加に際し、山車の国道17号線通過が認められず、役員皆様の心痛を悩ましたが、子供達に事故もなく終わることが出来ましたのも皆様のお蔭と重ねてお礼申し上げます。

今後も自治会事業が多く計画されておりますので、町内の皆様、一層のご協力下さるようお願い致します。

（自治会長 田島 健司）

## 祭りを終えて

祭り日和の秋空の下で、南町一丁目祭り（前橋まつり）が無事に終わりました。これも、準備段階から片付けに至るまで携わっていただいた皆様のお力と深く感謝申し上げます。

太鼓の練習を心待ちにしていた2人の息子は、学校から帰って来ると、“さっさと”おやつを食べ、“とっと”と宿題をやり、少しでも時間があれば、“せっせ”とゲームをして、夕食後に練習へ行くという充実した生活を送っていました。母としては、いつもこうならいいのに・・・と心に思う日々でした。

今回のお囃子の練習では、生の笛の音ではなく、パソコンから流れる笛の音に合わせなければならず、戸惑いながらも一所懸命に合わせようとする子ども達の姿に太鼓に掛ける意気込みと、思わず出してしまう欠伸にも微笑ましさを感じました。

今年は役目上、久しぶりにテントから出てみましたが、いつもと勝手が違い、少々手持ち無沙汰。忙しく動いている町内の方々、模擬店のお母様方には申し訳ない気持ちでしたが、ぎりぎりの人数にもかかわらず、段取り良く作業が進んで行くのはチームワークのなせる業と改めて感心させられました。役目として歩いたパレードは、山車から聞こえるお囃子と元気な子ども達の掛け声に背中を押して貰い、漸く歩いた2日間でした。

大人も子どもも、それぞれの役割を十分に果たし、疲れはあっても笑顔で祭りを終えられた事が、また来年の祭りの力になっていくのでしょう。

町内の皆様には、大変お世話になり、ありがとうございました。（育成会長 松本 和子）

## まえばしまつり

ことし、はじめて、たいこのれんしゅうにいきました。さいごのほうはかぜをひいてでられなかったけど、まい日、おわるときにおかしをもらえるのがうれしいです。そのおかしをたべるひまはないけれど、まい日まい日、ちがうおかしがたまっていくのがうれしいです。それに、つなをひっぱるときも、かけごえがおぼえられたので、きょねんよりちょっとたのしかったです。

（1年 ふじくら ひとし）



## 楽しかったお祭り

わたしは、おまつりがくるのをまっていたいました。いっしょうけんめい、たいこのれんしゅうにも行きました。はじめて、たいこのれんしゅうでだしにのれる日がきました。ドキドキです。だしの上にのったとき、だしがうごいたからとてもびっくりしました。でも、二かい目にのったときは、うごいていてもはじめてじゃなかったからびっくりしませんでした。だしにのるのは、とてもきもちよかったです。

10月11日、いよいよほんばんになりました。いちばんはじめから、だしにのれました。さいしょはかねをやって、かねがおわったらたいこをしました。だしをひっぱる人は大変そうでした。だしがまがるところもむずかしそうでした。町までは、だしをひっぱりました。足がいたかったです。町についたら、ほかの町内の友だちと会いました。みんな、はっぴでした。友だちといっしょに、しゃしんをとりました。おまつりはとても楽しかったです。来年のおまつりもがんばります。

(2年 はまがみ ななみ)

## 前橋まつりの思い出

わたしは、10月11日と12日に前橋まつりがあるので、いっぱい練習をしました。最初は、しゅう会所でやってきました。なれてきたら、みないでやったりしました。そして、前橋まつりがちかづいてくると、第2しゅう会所でやりました。そのときは、だしにのってやります。ほかの、紅雲町のたいこの音もきこえてきたりしました。

前橋まつりがやってきました。最初に町内を回りました。わたしは、たいこは1回か2回しかやらなかったけど、かねは、けっこうできてよかったです。わたしは、たいこより、かねのほうが好きです。たいこは、まわすところが、すこしだけむずかしいです。こんどは、パレードです。6年生と5年生が、たいこと、おおだいこと、かねをやっているの、わたしたちは、だしを引いていました。どうろで引いているのは、すごく大変でした。わたしは、足がいたくなって、すわってしまった時もありました。わたしは、ついてから、あんぱんとかをもらいました。すぐにたべてしまいました。そのあと、自由時間がありました。自由時間がおわって、また、商店がいをまわりました。そのあとは、すぐに、広場にかえりました。そのあと、夜ごはんをたべて、また、町内をまわりました。町内とかを回るときは、たいことかは、たたかせてくれるので、よかったです。

2日目です。6年生と5年生はマーチングにいて、朝からお昼までいませんでした。でも、いっぱいたたけてよかったです。2日目は1日目よりもすぐに終わったなと思いました。でも、2日目と1日目と、たのしい前橋まつりになってよかったです。(4年 たきた あかね)

## お祭り

10月11日と12日のために、ぼくは、太この練習をしてきました。特に、おおどの練習をたくさんしました。

いよいよ本番がやって来ました。ぼくは、サッカーがあって、11日は、と中からお祭りに行きました。その日は、夜にしか太こをたたけませんでした。でも、次の日は、5、6年がいないので、朝からずっと太こをたたけました。街に行くとき、4年生はずっとだしの上で太こをたたいたり、おおどをしたりしていました。街に着くと、ほかの町内の友だちとかにあったりしました。からあげを買ったりして、とっても楽しかったです。お祭りが終わったときに、ぼくは、「終わってしまったんだ、また来年か。」と思いました。

また来年にむけて、練習を家でもしています。

(4年 北里 勇次)

## お祭り

私は、桃井小学校の4年生です。南町一丁目に住んでいます。南町一丁目は毎年十月の前橋まつりの時、だしの上でたいこやかねをたたきながら町内を回り、町の方まで歩いていきます。友だちと遊んだり、おしゃべりをしたり、とても楽しいです。私がとくに楽しかったことは三つあります。

一つ目は、お祭りの前に、だしのじゅんびのお手伝いをしたことです。だしにかざる金色のかざりを軍手でピカピカにみがきます。初めは黒くにごっているかざりが、ごしごしこすっていると、どんどん光ってきます。私は、きれいになってくるのがうれしくて、いっしょうけん命こすりました。お母さんたちもたくさんいて、いっぱいあったかざりは、あっという間にみんなピカピカ◇光っていました。◇ピカピカ◇に光ったかざりをだしにとりつけて、だしは、なんだかうれしそうでした。

二つ目は、だしの上でたいこやかねをたくさんたたけたことです。5、6年生がマーチングに行っていなかったんで、4年生がメインになってたたいたのです。たくさんたいこがたたけました。かねもたくさんたたけました。

三つ目は、らくがきせんべいを食べたことです。町に行った時の休けい時間に、まりちゃんと、あかねちゃんといっしょに買いに行きました。丸いおせんべいに箸で水をつけ、お店のお姉さんがおさとうをのせてくれます。私は、ハートの形に水をつけ、そのうえにおさとうをのせてもらいました。とてもかわいくできました。ざらめのおさとうがあまくて、おいしかったです。

お祭りは、たくさん歩くからつかれるけど、楽しいこともたくさんあって大すきです。

(4年 岩田 春佳)



## 南町一丁目祭り

9 月半ばから、おはやしの練習が始まりました。習い事や宿題を終わらせてから集会所に集まります。大変だなと思う日もあったけれど、低学年もがんばっていたので、ぼくもがんばろうと思いました。2 年生から参加した南町一丁目祭りも今年で終わりです。初めのころは上手くたたけなかったけれど、今では笛の音を聞くだけで自然にたたけるようになりました。

祭り当日、山車で町内を回り、街へ向かいます。立川町通りで他の町の山車に会った時は、負けないように声とたいこの音を大きくします。休けい時簡になると、友達と屋台に行きます。その後、本部前を通り、南町一丁目の紹介のアナウンスが流れ、競演が始まりました。その時、テレビやカメラマンがいっぱい来て、きん張しました。そのころには、外は暗くなります。気をつけて南町に帰り、一日目が終わります。広場では、弁当、焼きそば、焼きまんじゅう、フランク、ポップコーン、ラムネがあります。それを食べるのが毎年楽しみでした。ぼくは南町一丁目に住んで、めったに経験できない祭りに参加できて良かったです。いい思い出になりました。

(6 年 山岸 晃樹)

## 南町一丁目祭りを終えて

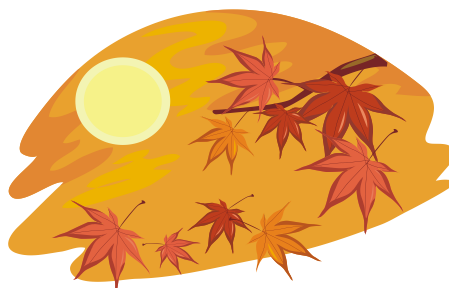
六年間参加してきた南町一丁目祭りも、今年で最後となりました。おはやしの練習に毎日行き、練習を重ねて行く間に、お祭り当日が楽しみになってきました。

本番当日、少しきんちょうとはずかしさがありましたが、みんなでおはやしの演奏をしているうちに、だんだん楽しくなってきました。町内を回り、前橋まつりに向かうと、たくさんの人たちの中で演奏して、またきんちょうしました。町では、友達たちと買い物をしたり、他の町内の友達の山車の演奏を聞くこともでき、楽しかったです。

夜になり、南町の山車もライトアップして、町内パレードに向かいました。少し疲れたけど、他の町内のおはやしも聞こえ、がんばることが出来ました。

最後の南町一丁目祭りで、楽しい思い出ができました。この後の行事にも参加して、良い思い出を作りたいと思います。

(6 年 吉尾 泰輝)



## 南町一丁目祭り

10月11日、12日と、前橋まつり町内祭りが行なわれました。

朝早くから、自治会、長寿会、成年会、育成会保護者の皆様の御協力で始まりました。子供達の太鼓の練習や模擬店の準備と、長い時間を掛けて進めて来た祭りが当日を迎えられ、今までの努力を無駄にしないように二日間頑張ろうと思いました。

焼きそばを担当しました。最初はとても緊張、味つけが決まって焼き上がりパックに詰められるとほっとする事が出来、お手伝いの方々が大変だけど楽しそうに、焼きそばを焼いていただく姿を見ると、とても嬉しかったです。子供達にも楽しい思い出となればと思います。

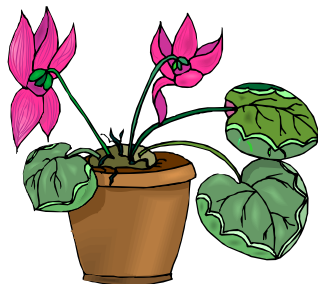
今年で最後の育成会参加になりますが、無事、終わる事が出来ました。ありがとうございました。  
(育成会 近藤 寿子)

## 祭りと成長

「お父さん、お祭りやっているよ！」前橋まつりとの出逢いは我が家が3年前に引越をしてきた当日のことでした。こんなに盛大なお祭りがあるなんて……。この地での生活にわくわくとした事を思い出します。が、しかし、私自身は今年が初めてのお祭り参加。(原稿など書ける立場ではありません。) いや、実をいうと人生初めての経験なんです。

1ヶ月以上前から聞こえてくる笛や太鼓の音。日頃から集中力のない我が家の子供たち。毎日練習には通っていましたが、果たしてちゃんと太鼓を叩けるのでしょうか。皆に迷惑をかけないか不安に思っていると、いやはや何と華麗な撥さばき。片手でくるりくるりとお見事。凛々しい姿で一番輝いているではありませんか。もう涙物です。(かなり鼻真目にみております) 子供たちの成長を垣間見る瞬間でした。

町内パレード・前橋まつりパレードとあっという間の2日でしたが、子供たちにはとても良い経験、いや私自身が一番良い経験をさせていただきました。何ヶ月も前から準備をしていただいた、成年会や育成会の方々には本当に感謝しております。また、お祭り当日にもたくさんのお手伝いの方により、子供たちの栄えあるパレードが出来たことは本当に喜ばしく思います。私自身、町内会行事に参加するのは、妻に連れられ濡れ手で粟。お父様方、もっと参加してみたいかがですか。  
(育成会 久田 政司)



## 南町一丁目祭り

「テケテン」「テケテン」と子供達の太鼓の練習が始まり、私も、今年は子供が6年生ということもあり、毎日練習に顔を出すように心がけました。

毎日、子供と練習に行っている間に、私も太鼓（大ど）を叩きたいという思いが大きくなり、ある日、子供と練習時間より早く集会所に行き、まだ誰も来ていなかったのもので、子供に「やめなヨ～」と言われながらも「テケテン」「ドン」と叩いてしまいました。

「すっきり」しました。

一所懸命練習をしている子供達を見ていたら、自分も童心に返ってしまい、「叩いてみたい」という思いが強くなってしまい、叩いてしまいました。

祭り本番では、沢山の保護者の方々のご協力もあり、模擬店の方も楽しく販売する事が出来て、皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

転勤で前橋に来て、7年目になりますが、今年はいろいろな意味で一番の思い出深い年になりそうです。ありがとうございます。  
(育成会 北里 純子)

## 南町一丁目祭りの感想

今年も多数の方々の多大な御尽力により、南町一丁目祭りが盛大に行われました。まことに喜ばしい事です。

南町一丁目の育成会、成年会、長寿会、生涯学習などの各組織のめざましい活動は、他の町内の人々から羨ましく思われることが示す如く誠に充実しています。当然お祭りに際しても、企画・立案、長い日時をかけての子供たちの指導、用具の調達、会場の準備・整備、来客への対応等、素晴らしいものです。その一例を端的に示すことが、お祭り当日の早朝、ただ一人黙々と会場のビニールシートを拭き清めるK氏の姿でありました。

私は今年は十月十二日の山車の巡行に付き添いをさせていただきました。図らずも、これ以上寂れようがないと評される中心商店街に久しぶりに足を運ぶ機会となりましたが、シャッター通りに溢れる多くの人々、何か異様にさえ感じられるこの賑わいが 日常のものであって欲しいと、日頃中心商店街へあまり出かけない身にとっても感じられました。いっそのこと、できるものなら中心商店街を何もかも揃う超巨大ショッピングセンターにしてしまったらどうか等と、入り組んだ権利関係などの現実を無視した空想めいたことを考えてしまいました。

人々の誠意と熱意そして、子供たちの笑顔。南町一丁目祭りのかけがえの無い喜びを今後もいっそう盛り上げて行きたいと思います。  
(五組 桑原 幹夫)

## 「お祭り」本部受付窓口から

今年も前橋祭りに合せて「南町一丁目のお祭り」がやってきました。もう一年経ったのかと、月日の早さにびっくりするとともに、お祭りを待ちわびた子供さん達には、やっとやってきたと思うのでしょうか。

期間中お天気に恵まれ、絶好のお祭りとなりました。私は、本部受付係を受けもって、その窓口から、皆様のボランティアぶりを感心して見てまいりました。改めて、町内の役員さんはじめ、多くの人達によって、このお祭りが開催できることに感謝するとともに、子供達に素適な思い出が残されたことと思っています。

警察の人、関係者の方々もご協力をいただき事故もなく、無事に終了したことを喜んでいます。

来年も子供達が卒業したり、加入したりして新しい顔ぶれで開かれることでしょう。お祭りは、子供の頃の楽しい思い出として残ると思います。今後とも、町内のお祭りがいつまでも続くことを願っています。

(民生委員 土屋 節子)

## 前橋祭りを終えて

去る10月11日、12日の両日、待ちに待った前橋祭りが盛大に行われました。我が南町一丁目も例年通り市街地まで山車を繰り出し、お囃子の競演等に参加したわけですが、子どもたちの一生懸命な姿を見るのは、なんとも微笑ましいものです。

子どもたちにとっても、小学生のころ、山車の上に乗って太鼓を叩き、鉦を鳴らし、笛を吹いたという思い出は一生心の中に残ることでしょう。

私は今年、成年会の一員として準備の段階から参加させていただきました。

準備はけっこう大変です。テントを張ったり、机やイスを運んできて揃えたりとやることはたくさんあります。ですが、ただ大変なだけではありません。

山車に化粧を施す作業は、眠っていた山車に息を吹き込んでいるかのようななかなか感動的ですし、お囃子の練習では子どもたちが徐々にうまくなって成長していく姿をつぶさに見ることができます。

確かに大変は大変かも知れませんが、そのことで得られるものもたくさんあります。そして何よりも自分たちで作り上げたお祭りには格別な想いが宿ります。

ぜひ来年以降も多くの方々に参加していただきたいと思います。まずは自分たちが楽しみましょう。親が楽しんでいればその思いは必ず子どもたちに伝わります。そして子どもたちの楽しかった思い出は、将来、次の世代の子どもたちにも受け継がれていくはずです。およそ伝統とか文化とか呼ばれているものは、こうして創られるものなんだろうなと思います。

まずは自分たちのために、そして何よりも子どもたちの未来のために、お祭りを楽しんでいただきたいと思います。

(成年会書記 滝田 秀夫)



## <桃井地区グラウンド・ゴルフ大会 団体優勝>



## みんなで楽しくグラウンド・ゴルフを楽しみましょう

今日もまた、利根川の河川敷にある第一公園のグラウンドから、カーン・コーンと軽快にグラウンド・ゴルフのボールを打つ音とともに「ナイスボール」、「ナイスショット」などとクラブ仲間の皆さんの楽しく元気な掛け声が青空に響きわたっております。

私は、南町一丁目グラウンド・ゴルフの倶楽部の一員となっており、運動不足解消のため1ゲームで約1,000歩は歩くグラウンド・ゴルフで補っております。グラウンド・ゴルフはまた、他のスポーツとは違い仲間同志で教えあって技術の向上を図り、初心者ほどプレーする機会が多く、更に仲間の皆さんに迷惑を掛けずに自分の責任の範囲でプレーすることが出来ますので気も軽く、少し慣れますと自分で打つ球が目標のホールポストに素直に向かって飛んで行き、ゲームでは最高のホールインワンというプレーも出来るようになって自分の成績を伸ばしてゆける楽しいゲームであります。

南町一丁目のクラブは、現在、60歳から80歳の男女18名一緒になって互いが親切をモットーにして笑いの中で楽しくゲームをしており、雨が降らなければ毎週火曜日と金曜日の2回、午前9時から11時半頃まで、第一公園のグラウンドでプレーをしております。

更に今年は春夏の2回、桃井小学校で開催された桃井地区のグラウンド・ゴルフ大会に南町一丁目のチームが参加して団体戦は優勝し、また個人でも優秀な成績を収めております。この様に楽しく愉快的なクラブですので何時でも結構ですから皆様の入会をお待ちします。

(南町一丁目グラウンド・ゴルフ副会長 北爪 尚夫)

## &lt;長寿会 秋季研修旅行記&gt;

**アッと驚いた為五郎氏**

為さんこと為五郎氏は何に驚いたか、それは観音の靈驗、妙智力の深さにであります。

時は天明三年七月八日午前十一時、突如として浅間山が大噴火、天を覆う黒煙により忽ち暗闇となり山頂からは轟音と地響きを伴い大量の火砕流が噴出し鎌原宿を直撃、地表の樹木、家屋、家畜、など総てを一瞬のうちに呑み込み流れ去りました。

その速さは秒速五十メートル（時速約百キロメートル）を越したといえます。鎌原宿の人口約五百七十名の殆どがアレヨアレヨと言う間に押し流されたが、辛うじて九十余名が助かりました。観音堂の近くの人々が命からがら十五段の石段をかけ上ったのです。そして下界に、助けを求めて土砂と共に流されて行く村人や家族を恐怖に戦きながら見守るのみでありました。

親は子を呼び、子は親を呼び叫び地獄絵図とはこのことでありましょう。石段の下までやっと逃げて力尽きた人はさぞ無念であったことと思います。連日連夜の慟哭に堂が震えたとも言われています。

数日後、近在からの食糧、衣類等の救援が始まり、また江戸の高僧による供養も長期間にわたりました。村を四メートル以上も埋めた泥流の灼熱、そして地鳴り地響きも九月末にはどうやら平静になったといえます。

爾来二百年以上経ち平成二十年九月十八日、私達二十二名のバスは、日本ロマンチック街道西路線を快走し十一時半予定通り鎌原観音堂に到着、近くの食堂で美味しい食事を鱈腹食べ満足々々。旅に出ると腹が減るので「親の時より子の時」とばかり平らげました。

堂まで行くと境内に大勢の人々がたむろしているので、隣の小肥りのエノケンが老けたような人に「何ですか」と聞いたところ周りに居た数人のご婦人が一斉に私の顔を見ました。エノケン先生が押し殺した小声で曰く「NHKがテレビ撮ってるんですよ」と教えてくれました。そういえば今日NHKの「ふるさと一番」という放送のロケがあると聞いていたのを思い出しました。

最近特に忘れっぽくなってきて自分で呆れる程ですが都合のいいこともあります。「あっ忘れた、ワリワリイ、とにかく年なもんで・・・」と年のせいにして適当に誤魔化せば大抵の人は「しょうがねーなー」と言いながらも許してくれますが中にはお堅い御仁が居て、そうは問屋が卸さない時もありますからご用心の程を。話しは横道に逸れましたが本論に戻りましょう。

境内はNHKの白い大きな車も停まっています。見ると石段を俳優？とアナウンサーらしい人が並んで何やら話しながらゆっくり上って行きます。きっと当時の状況でも話しているのでしょう。それにしても裏方さんのなんと多いことよ、何か機械の箱を持って付いてくる人、照明や音響の担当者、ずるずる引き摺るコードを整理する人等にかかなりの人数です。裏方さんの存在を痛感した次第です。

ロケ終了後、お堂に参詣し本堂脇に佇てば当時の惨状が思い浮かびます。目を瞑れば吹き渡る風の音がザワザワと亡き人々の息遣いのように聞こえ御冥福と、世界の平和を祈念いたしました。

帰命頂礼鎌原の観音堂の秋の風

紅葉にはまだ早かったが天候にも恵まれ高原の初秋を堪能し、無事十六時頃帰りました。長寿会秋季研修旅行、上信高原の旅の一節、鎌原観音堂の段、先ずはこれにて打ち上げさせていただきます。  
(長寿会B会長 三宅 耕平)

## 今後の町内行事計画 (平成20年12月～21年3月)

	行 事 等	関 係 団 体
12月	南一いきいきサロン(10日) 廃品回収(21日) 餅つき大会(21日) 高齢者教室(生け花講習)(28日) 上毛かるた練習(16～19日)	民生委員、保健推進委員、長寿会 育成会 成年会、長寿会、育成会 生涯学習委員 育成会
1月	南一いきいきサロン(10日) 上毛かるた練習(7～16日) 桃井地区上毛かるた大会(18日)	民生委員、保健推進委員、長寿会 育成会 育成会、体育協会
2月	南一いきいきサロン(10日) 廃品回収(15日) 高齢者教室(味噌造り)(中旬を予定)	民生委員、保健推進委員、長寿会 育成会 生涯学習委員
3月	南一いきいきサロン(10日) 町内グラウンドゴルフ大会(日) 桃井地区グラウンドゴルフ大会(22日) 長寿会日帰り研修視察(日)	民生委員、保健推進委員、長寿会 体育協会、南一グラウンドゴルフクラブ、成年会 体育協会、南一グラウンドゴルフクラブ、育成会 長寿会





## &lt;南町一丁目祭り（前橋祭り協賛）写真展&gt;



## シャッターに思いを込めて

11月16日（日）、集会所において、お祭り関連の写真展を開催いたしました。成年会、子供育成会等よりたくさんの出品があり、来場者は展示された写真を見ながらお祭りの感慨を新たにしていました。作品の中から、最優秀作品1点、優秀作品2点、佳作5点が選ばれ、受賞者には祭典実行委員会より賞品が授与されました。なお、作品は12月21日（日）まで集会所に展示されています。

（生涯学習奨励委員 福島 勝男）

## 編集後記

12ページとなりました「南町一丁目だより第10号」いかがでしたでしょうか。掲載記事以外にも、カラオケクラブ、ゴルフクラブ、いきいきサロンなど、取り上げたい活動があったのですが、紙数の関係で今号では割愛させていただきました。今後とも町内の楽しい話の投稿をお待ちしています。

（編集委員／生涯学習奨励委員 福島 勝男）

今年の南町一丁目祭り、残念ながら、仕事が重なってしまい、本番当日の参加ができませんでした。留守にしてすみません。でも、皆さんの記事によって、お祭りの気分が十分に伝わって来ています。

<http://www.ops.dti.ne.jp/~yanaka/3731/>

（編集委員 谷中 勝）